

学校生活におけるマスクの着用について

6月に入り、そろそろ梅雨入りが近づいています。これからの季節は、新型コロナウイルス感染症予防対策に加え、熱中症予防の対策も必要となってきます。マスク着用は新型コロナウイルス感染症予防には有効ではありますが、マスクをつけることにより熱中症のリスクは高くなります。

とても難しい状況ではありますが、国や県・市の方針を踏まえ、今後学校生活におけるマスクの着用について以下のようにさせていただきたく思います。

1. 体育の授業中はマスクを外して行います。

文科省やスポーツ庁の通知にも「体育の授業におけるマスクの着用は必要ありません」と示されています。

2. 休憩時間・昼休み等、屋外・体育館で遊ぶ時もマスクを外してよいとします。

休憩時間・昼休み等、外や体育館で走ったりすることも多く、これも体育の授業中と同様に考えます。

3. 音楽の授業時もマスクを外して行います。

合唱・リコーダーの練習等を行う場合、座席を十分離れた状態で授業を行います。

4. 徒歩通学児童のマスク着用につきまして

今後気温・湿度の上昇が考えられ、マスクをつけることで熱気がたまりやすく、熱中症の心配があります。

従いまして、熱中症から子どもを守るという観点から、マスクを外すとします。ただしマスクを外す場合は周りの人との距離を十分とるようにお願いします。

また、帽子やクールネックタオル等暑さ対策も十分に行っていただきます様よろしくお願いします。



5. その他

※スクールバス通学児童は、マスクを着用し間隔を取って座席に座ります。

※教室ではマスクを着用し授業を行いますので、マスクを忘れず持たせてください。

※マスクを外すことに不安がある人は、そのままでも構いませんが、熱中症に十分気を付けてください。

☆学校におきましても、こまめな水分補給、ミストの使用、扇風機・エアコンの使用等熱中症対策を十分に行っていきます。

シャニーグ先生

5月25日（月）から、新しいALTのシャニーグ先生に来ていただいています。
シャニーグ先生はジャマイカの出身で、ジャマイカの食べ物や生き物のことについていろいろとお話をいただきました。



避難訓練

5月29日（金）1学期最初の避難訓練を行いました。

今回は地震を想定した避難訓練でした。

教頭先生の地震訓練放送の後、全員が机の下にもぐり「地震が収まりました」という放送の後、教室から避難した児童は防災頭巾をかぶって、特別教室等にいた児童は頭を保護するものを持って全員運動場に避難しました。

初めての避難訓練でしたが、それぞれが静かに・素早く行動でき、避難指示の放送から避難が終わるまで1分30秒というとても短い時間で避難できました。



飛鳥小学校 HP

<http://www.kumano-city.ed.jp/esasuka/>

